

## SOHO と私

(有) 計装プラザ 代表取締役 佐鳥聡夫  
ISA Member, Toshio Satori

終身雇用制度変貌の反映か、ここ数年 SOHO に関する話題が増えた。新聞情報によると、わが国の SOHO 人口は昨年 246 万人、2005 年にはほぼ倍増し 445 万人になるとのこと。定年を待たず技術コンサルタントとして独立した私は、今日まで SOHO を運用して来たので、その体験をお話したい。

### 1. 一昔前の SOHO 環境

俗に十年一昔と言うが、コンサルタント事務所を開業してはや 13 年が過ぎた。開業直後大学の同窓会誌に寄せた原稿を読み返すと、「30 万円足らずでワープロ、コピー、ファックスの三種の神器が揃うのですから有り難いことです。これで大企業並の文書を作り、世界中と交信することができるのです。10 年前これだけの OA 機器を買ったら 300 万円でも足りなかったでしょう」とある。これは当時そのまた一昔前を振り返っての実感であった。

振り返ると私が会社に入った 60 年代は、和文タイプ、タイガー計算機、湿式複写機の時代。どれも高価で個人が気軽に買えるようなものではなかった。80 年代に FAX を初めて見たときは、その便利さに感心したが値段は高かったに違いない。因みに 83 年に登場したワープロの定価は 200 万円であった。

それが技術の進歩によって価格が下がり、個人事務所が大企業と変わらぬ OA 機器を持てるようになった。私が開業したときは、機材の面で SOHO が可能になった時期と重なり幸運であった。

### 2. 今日の SOHO 環境

それから十数年を経て SOHO 環境はどのように変わっただろうか。今日の三種の神器はさしずめ携帯（電話）、パソコン、インターネットか。いずれにせよ、これら全てが 10 万円で揃うのだから驚きだ。300 万

円以上から 30 万円、10 万円と下がり続け、昔に比べればほとんど只に近くなった。

一昔前は OA 機器の進歩が SOHO 環境を劇的に改善したが、今日では IT 技術の進歩がそれを加速している。開業当座、毎月数千円払っていた国際電話料は、Eメールの導入後ゼロになった。個人事務所の悩みは電話番号の不在であるが、Eメールと携帯が問題を解決してくれた。以前はプロの仕事であった画像処理、印刷物、ウェブサイトの構築も、今では自分のパソコンで出来る。通信速度について言えば、CATV の早さは驚くばかり。仕事の道具立てに関する限り、SOHO 環境はすでに十分成熟したと言ってよい。

### 3. 山里の SOHO

一昔前アメリカからの情報として、庭に大きな衛星通信用パラボラアンテナを設置し、人里離れた場所でも仕事ができるとのニュースがマスコミに取り上げられた。そんなことは日本では夢と思っていたら、何と自分がそれに近い環境に飛び込むことになった。

昨年秋、それまで住み慣れた横浜から東京へ移り住む話が持ち上がった。幸い自宅はすぐに売れ今年の春明渡したが、新居の着工はまだ先で、完成するまで住む場所が無い。やむなく家財を倉庫に預け、これまで気分転換に使っていた山荘を仕事と生活の拠点にすることにした。

山荘のある場所は山梨県の八ヶ岳山麓、海拔約 1100m の小規模な別荘地。電気、プロパンガス、簡易水道のライフラインは揃っているが、近くの集落まで徒歩往復 1 時間。商店、コンビニはさらに遠方で、車



なしでは暮らせない。これまで月に数日はここで過ごしていたものの、連続4ヶ月以上の長期滞在は始めての経験で、仕事ができるかやはり一抹の危惧があった。

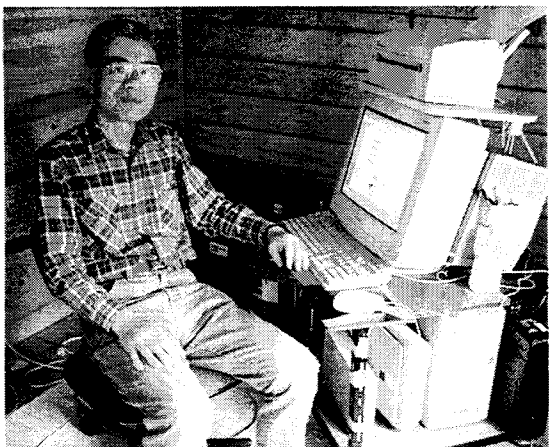
#### 4. 意外に快適ー山里暮らし

横浜からSOHO機材一式を運び込んだのはまだ雪の残る3月下旬。さて腰を据えて暮らし始めると意外に快適かつ便利と分かった。

早春の朝はまず薪ストーブの火起こしから始まる。朝昼兼用のランチを食べてから仕事に掛かり、疲れると近くを散歩か時には薪作り。午後のティータイムの後、夕食までまた仕事。夜はテレビを見ることもあるが、仕事を続ける日の方が多い。と書くとまるでワーカホリックのようだが、実は昼間ちょっと手を出した庭仕事に夢中になり、ふと気が付くともう日が傾いていたり、仕事と遊びの時間が交錯している。だから長時間仕事をしてさほど苦にはならない。

車で30分ほど走ると昨年オープンした大きなショッピングモールがあり、食料品や生活用品は週に一度のまとめ買い。郵便物は配達に来る局員が、投函する分も持って行く。これは四半世紀前に経験した、アメリカ郊外のライフスタイルそのものだ。OA機器の消耗品はインターネットで注文すると翌日には宅配便で届く。

別荘地内に電話線が引いてあるので、Eメールとインターネットが使える。これさえあれば街中と仕事の環境は変わらない。携帯電話は料金が距離に比例せず、遠距離通話は固定電話より安いくらいだ。



仕事や会合のため月に数回首都圏に出るが、車で30分ほど走れば高速道路に乗れるので、これもさほど不便を感じない。夏ともなればエアコン要らずの高原生活。酷暑の下界で働く方々に申訳ない快適さだ。

#### 5. Eビジネス

開業以来、技術相談から市場調査、はては横浜市の海外交流の手伝いまで幅広く仕事をしてきたが、昨年知人から「製品選択のための中立的なウェブサイト」の話の聞きされ、これは面白いと昨年秋、センサとフィールド機器を中心とした専門ポータルサイト「計装プラザ」<http://www.keisoplaza.co.jp/> を立ち上げた。ささやかなEビジネスのスタートである。

この種のサイトは、歯車やCADなど特定のカテゴリに内容を限定し、狭くて深い情報を提供している。メーカーのウェブサイトと異なり競合製品を比較検討できる、いわばネット上の秋葉原だ。また製品情報のみならず技術解説など参考情報も提供している。Eメールによる相談窓口を設けているサイトも多い。運営費はここにサイトの利用料や広告料で賄う。アメリカではすでに多くの専門ポータルサイトが活動しているが、日本では未だしの感がある。

Eビジネスの問題の一つは、今のところ効果が測定し難い、あるいは効果が低い点にあると言われている。そこで計装プラザは運用経費を極力切り詰め、安い料金で提供する方針とした。これにより、広告予算の少ない企業にもご利用頂くことを狙っている。

しかし、只安いだけではサイト訪問者にとって魅力がない。雑誌記事・参考図書目録、アドバイザによる相談窓口、イベントカレンダー等の情報を提供している。特にイベントカレンダーは頻りに更新しているのでご利用願いたい。

サイトの効用を高めるには、まず情報の集積度を上げる必要があるが、今のところ「もう少し増えたら考えよう」と模様眺めの方が多いようだ。「鶏と卵」の関係を打破するため、現在「参加企業が一定数に達するまで登録料無料」のキャンペーンを行っている。このような運営ができるのは、経費の掛からぬSOHOの強みと自負している。しかし、この努力も本サイト

の存在が人に知られなければ無意味に終わる。知名度向上に会員諸氏のお力添えを頂ければ幸甚である。

#### SOHO 開業ガイド

以下 SOHO 開業の参考情報を付記する。

##### 1) 開業前の情報収集

「SOHO」「起業」などのキーワードで検索すればインターネットで多くのサイトが見付かる。しかし、最も有用な情報は先輩の経験談だ。技術士の先輩に「独立するなら貴方が何を知っているかより誰を知っているかの方が大事ですよ」と言われたことはいまだに忘れない。

##### 2) 事務所の場所

顧客の方から打合せに来る商売でない限り自宅がベスト。通勤時間はゼロだし、深夜まで仕事もできる。余分な経費が不要。

##### 3) OA機材

パソコン1台でもよいがEメールは必須。因みに私の機材は、モデム付きデスクPC、ノートPC、MOドライブ、デジカメ、スキャナ、FAX、携帯電話各1台、プリンタ2台。

##### 4) 開業手続き

税務署に届出の必要があるが、近くの青色申告会に相談するのが早道。入会金1000~3000円、月会費1000~2000円程度。

開業前に購入した図書、OA機器、交際費なども経費扱いになるので、領収証の収集を忘れぬこと。会計ソフトは「弥生会計」が使いやすい。会社組織にする場合は司法書士に依頼する。自分で手続きすることも可能。

##### 5) 諸制度の活用

節税に役立つ青色申告制度、小規模事業者共済制度など。会社に20年以上勤めると国民健康保険も、一般より有利な退職被保険者証を貰える。会社も役所も教えてくれないので、国保加入時に申告のこと。

さらに情報が必要な方は下記に連絡されたい。

Eメール：[satori@mwd.biglobe.ne.jp](mailto:satori@mwd.biglobe.ne.jp)

TEL/FAX 0551-48-5223 (8月上旬まで)

携帯電話 090-1404-5549

---

---

## ISA 新刊(CD-ROM)案内

---

---

ISA日本支部・Web担当 神余浩夫

### 1) ISA--2001 - Standards Library for Measurement and Control - CD ROM

#### 概要

PDFフォーマットのこの包括的な情報は、現在ISAが販売する全てのStandards, Recommended PracticesとTechnical Reportsの全テキストと図表を含んでいます。CD-ROMとハイパーメディアテクノロジーは、コンピュータから離れて印刷物の山をひっくり返さなくとも、数秒であなたが必要とする文書を見つけ出して表示・印刷できます。

安全性を維持し、品質と生産性を向上させるために、Standardsを使うことが促進されています。それは、ISO認証やOSHA準拠のためのドキュメント作業に追われて顧みられなかったベンダと顧客のはっきりした意思伝達を保証したり、安全システムの監査に必要です。この仕事は、ISA Standards, Recommended Practice, Technical Reportsの活用によってより容易に達成できます。このCD-ROMはオフィスで、そして現場で測り知れないほど貴重です。また、転職の要求と挑戦において、重要な保険となります。

計測制御のための最新のStandards CD-ROMを所有することは、すべてのISA Standardsを持っていることを保証します。ISA Standards, Recommended Practice, Technical Reportsのこの完全なコレクションを購入することは、それらを個別に購入した場合の85%引き価格と同じです。

ANSI標準と同様、国際的に認められている標準化組織ISAは、数百の産業と専門的技術者を招集して仕事を進めます。ISA Standardsは公平であり、かつ計測制御プロフェッショナルの最後の言葉として権威を持っています。この情報を見逃さないでください！